

ブラジルのテメル大統領、ひとまず失職を免れる ～今後の注目は同氏を巡る捜査の行方～

ブラジルでは、前大統領のルセフ氏と現大統領のテメル氏が正副大統領として当選した2014年の大統領選挙について、不正資金が使われたとして、野党が無効を申し立てていましたが、選挙高等裁判所は6月9日、同選挙を有効とする判断を下しました。無効と判断されれば、テメル氏が大統領の座を追われる可能性もありましたが、それが回避されたことにより、同氏は大統領の職務をひとまず継続することとなります。

ただし、テメル大統領を巡っては、検察が現在、捜査妨害や収賄などの容疑で捜査を行なっています。同捜査は、政府系金融機関の不正融資事件で捜査された大手食肉加工会社の幹部らが、検察との司法取引に応じて行なった証言や証拠提出などを受け、最高裁判所が認めたものです。同社幹部らは、テメル氏に賄賂を渡したと証言しているほか、収賄罪などで服役中の元下院議長への口止め料の支払いを続けるよう、テメル氏に促されたとしています。こうした事態を受け、連立与党内でも同氏に対する批判が高まっています。

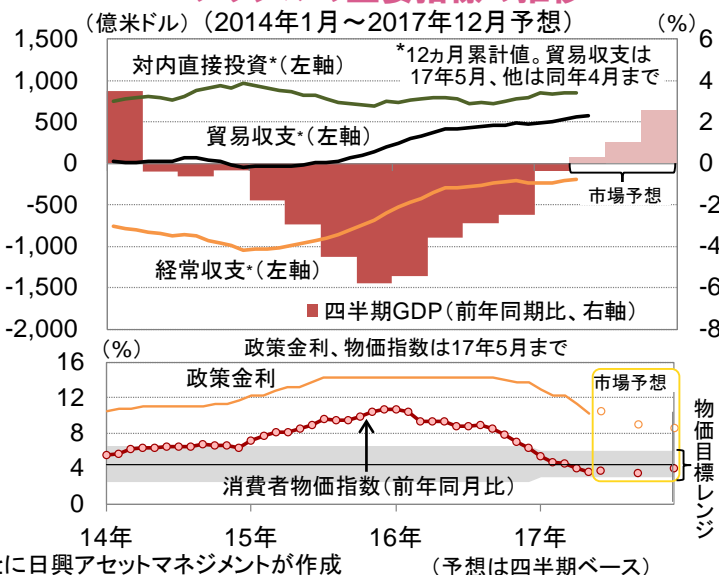
昨年、大統領に昇格したテメル氏は、ルセフ前政権時代に滞った改革を進め、歳出上限法を成立させたのに続き、今年は、財政の長期的な安定に必要な年金改革法案の成立や、労働法の改正などに向けて取り組んでいます。そうした政権運営が市場で評価されたことに加え、インフレ率の鈍化などを背景に、中央銀行が利下げを積極化する中、景気の持ち直しが見え入り始めたこともあり、ブラジル資産は昨年以降、堅調に推移してきました。しかし、テメル氏が検察の捜査対象となったことに伴い、大統領の任期を全うできない可能性が台頭したほか、改革行き詰まりの可能性が高まると、通貨リアルが売られるなど、市場に動揺が走りました。

テメル氏に対する捜査が起訴に至る場合でも、大統領が被告として裁判に出廷するには下院の3分の2以上の承認が必要なため、連立与党の現在の勢力状況からは実現の可能性は低いとされています。ただし、捜査が長引けば、連立離脱の動きが加速する可能性があるほか、起訴を免れる場合でも、弾劾を求める動きが活発化することが考えられます。いずれにしても、容疑が早急に晴れない限り、政権の求心力低下は避けられないとみられ、2018年に選挙が控えていることも考え合わせると、捜査が長引けば、国民に痛みを強いる年金改革法案の成立は難しくなる(成立する場合でも、骨抜きになる)恐れがあるだけに、捜査の行方が注目されます。

ブラジル・リアルと原油価格の推移



ブラジルの主要指標の推移



※上記は過去のものおよび予想であり、将来を約束するものではありません。

日興アセットマネジメント

■当資料は、日興アセットマネジメントが市況等についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。